



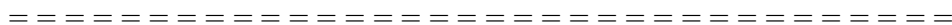
地域日本語支援ニュース こだま 第 233 号

2013.5.9



★—メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます—★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。



■ともに 生きる■

～ 教室を通してたくさんの日本人に会いました ～

中国出身 于 鵬鵬 (ウ ホウホウ)

広島県の瀬戸内海に面した呉市では、呉市教育委員会が主催し市民ボランティアが運営する「日本語教室《呉》」を開いて 20 年になります。教室を運営している「ひまわり 21」は、活動を「仲間づくり・まちづくり」と考え、教室に参加する全ての人が運営の担い手になるような様々な試みをしています。教室に参加している于（ウ）さんと代表の伊藤さんからお伝えます。 ☆★☆☆☆☆★

私は技能実習生として広島県呉市で働いています。日本に来て 2 年になりました。実習生ですから、土日は休みが多いです。日本語教室に行く前の休日は、買い物以外はあまり外に出ませんでした。言葉も分からないし、行く場所もないし、付き合ってくれる人もいなかったです。最初の 1 年はつまらなかった。

◆「日本語教室 呉」との出会い◆

1 年前に会社の日本人の紹介で「日本語教室 呉」を知って、毎週土曜日の夜に通い始めると、私の生活は豊かになってきました。ここでたくさんの友達と知り合いました。教室の先生も優しく親切で、分からないことを丁寧に教

えてくれます。そして、ここが一番好きなのところですが、私たちを中心にして色々な活動をしています。

◆広島国際大学の学生との共同プロジェクト◆

この教室は私たちと地域社会を繋ぐために、色々なチャンスを作っています。教室が大学や地域に提案して、近くにある広島国際大学の学生と一緒に大きなステンドグラスを作りました。作るとき、どうしても話さなければならないので、たくさん話が出来て、すごく勉強になりました。そして、できあがった作品を市内のあちこちに展示するために、何回も一緒に作業をしたから、仲が良くなりました。普段私たち外国人は日本人に声をかけるチャンスが少ないです。やっぱりこういう活動で同じ目的を持って自然に知り合い、だんだん緊張感がなくなって、お互い若い者同士だからいろんな話ができたと感じました。

◆広（ひろ）フットサルリーグ◆

また、広（ひろ）フットサルリーグが主催した試合に、私たちもチームを作って参加しました。教室の仲間たちがたくさん応援に来てくれてうれしかったです。最後は教室の仲間が加わっている神田造船のベトナム人チームが優勝しました。私たちのチームは惨敗だったけど結構楽しかった。地域の社会人や学生と一緒に遊ぶのはなかなか機会がないので、いい経験になりました。

◆自治会の人と防災教室◆

先日は、近くの自治会の人達と一緒に消防署の防災センターに行って、色々な体験をしました。消防署の人は私たちのために、ゆっくりと丁寧に説明してくれました。地震の体験、火災の予防、119番への通報のしかた、いい勉強になりました。最後にグループに分かれて、私たちの教室をみなさんに紹介したり、防災の話をしたりしました。お互いの国の災害などの話がたくさんできました。

◆私達もボランティア活動◆

ボランティア活動もしました。日本人と一緒にゴミを拾いながら山を登ったのです。小さい子ども、年配の方、自衛隊の皆さん、250人くらいの市民が参加していて本当に感動しました。私の国にはこういう活動はなかなかないので、

みなさんの精神を勉強して、自分の国で生かすことができたらいいなと思っています。途中で他のボランティアと沢山話をしました。とても光栄な仕事をしました。休山（やすみやま）が綺麗になって本当にうれしかったです。

◆私の町、呉が大好き！◆

こうした色んな活動を通して、普段地域の人と接することが少ない私達外国人は、たくさんの日本人と知り合って、話して、仲良くして、自分はこの町の住民だと実感できました。たくさんの日本文化も知ることができました。だんだん日本での生活になれてきて、日本語も少しは話せるようになりました。自分の生活も充実してきて、最初の頃のひとり外国で暮らすさびしい気持ちもなくなりました。寮から出て町を歩く時の心細い気持ちがなくなって、好きなところへ行ったり、何かわからない時は自信を持って日本人に聞いたりして、だんだん自分が住んでいる町が好きになりました。

日本にいる間、日本語教室の活動をいつも楽しみにしています。たくさんの思い出ができるだろうと思います。普段の仕事でどんなに疲れていても、悩みがあっても、やっぱりみんなと一緒に楽しい時を過ごすのが一番の幸せです。私はこれからも、日本語教室の友だちと一緒に色んなことをやり続けたいです。

ひまわり 21 「日本語教室 呉」代表 伊藤美智代

私達は学習者が自主的・主体的に活動できるような働きかけをしてきました。また、地域住民との出会いの場を作り、お互いに理解を深め、協力して何かを成し遂げる機会を作るようにしています。

こうした活動を重ねていると、学習者がどんどん積極的になり、自ら行動するようになりました。教室は週1回なので、教室の face book を共有の場、話し合いの場として上手に使っています。また嬉しいことに、地域からいろんなお誘いの声がかかるようになりました。今は4カ国6人が、まちづくりイベントで踊るために練習をしています。日本語教室から地域に発信し、地域とつながってできる事はたくさんあると思います。

于（ウ）君の文章は、私たち思いを込めて重ねてきた活動の意味を確認させ

てくれました。参加する人々が、小さな幸せを実感できる瞬間をたくさん持つてほしいと願って活動を進めてきました。于（ウ）君の言うように、これからもみんなと一緒に、楽しくいろんな事に取り組み続けます。みなさまも 私達の教室に遊びにいらしてください。
